

榮光

748号

2023年5・6月
日本基督教団
田園調布教会
伝道部発行

〒145-0071
東京都大田区田園調布
3-34-18
電話 03-3721-2811
FAX 03-3721-2814
<http://den-church.jp/>

ペンテコステ礼拝説教

聖霊による喜び

テサロニケの信徒への手紙一 一章二〜一〇節

牧師 高橋 和人

ペンテコステを迎えました。ペンテコステは使徒言行録二章にある五旬祭の出来事を記念して、祝われる教会の祝いです。クリスマス、イースターと並ぶ教会の祝祭の日です。その内容は使徒たち一同が一つになって集まっているところに、その人たちが聖霊に満たされ霊が語らせるままに他の国の言葉で語りだしたことでした。聖霊が降った日であり、それによって教会が成立したことを喜び祝う日となりました。それは聖霊によって語りだした説教の始まりでした。使徒言行録にはそこから聖霊に導かれた使徒たちの伝道の様子が記されます。さまざまな事件が起こり、教会の初期の生き生きした伝道の様子が紹介されています。

テサロニケの信徒への手紙一は新約聖書の中でも最も早く書かれた使徒パウロの手紙です。ペンテコステによる教会誕生間もない時の教会の姿を知ることができます。この手紙が持つ意味は、最初の教会の様子を直接知ることができることです。教会はその始まりを大切にしてきた。遡ることを大事にした。それは主イエスに結びつくからです。伝統は主イエスに遡る流れの道筋のことです。主に立ち帰ることが教会の命を回復させてきた。主イエスに遡って行くことは、今も教会を導いている聖霊の生き生きした働きを取り戻すことになります。

特に宗教改革は、聖書に帰り、初代の教会の信仰に帰り、主イエスに帰ることを原点にしてきました。「原点への回帰」つまり主に立ち帰ることはいつの時代も教会を新しくしてくれました。宗教改革の教会は御言葉によって常に改革される、というのです。

この手紙には聖霊の働きがはっきりと描かれています。五節には「わたしたちの福音があなたがたに伝えられたのは、ただ言葉、だけによらず、力と、聖霊と、強い確信とによつ

たからです。」と福音が伝えられるのは、言葉だけではなく、聖霊によるという。福音は言葉と聖霊が両輪のように働いて伝わる。ペンテコステによって、聖霊が弟子たちに説教を語らせ、それが伝道となり教会を形作っていきました。

説教は救いをもたらすものにならないかもしれません。つまりそれを聞いた人に救いの言葉、福音として伝わる必要がなければなりません。

それはいつも、説教のことがみな分かっている必要はない、ということではありません。今日の説教は難しすぎて、分からなかったとか自分の思いとは違うということがありません。

説教は聖書を語ります。ですから、しみこむように、そのまま受け取ることができるところがあります。それと同時に、説教を聞くことには様々な思いが浮かび上がってきます。説教を聞きながら、思い出すことも多いと思います。納得できること、腑に落ちないこと、引っ掛かることがあります。そういう中で思いや気持ち、考えが動きます。魂の動きがあるのです。

説教の聞き方に、柔らかい心を持って聞くということをお伝えされたことがあります。こわばった心では、聞き取れないことが多いのです。

聞くことができるのは、その説教の言葉が自分に語られていることが分かるときです。人の言葉ではなく、聖霊が語り掛けてくださる、そのように聞かれることです。まさに最初の教会は説教を通して、聖霊が語り掛けられることを実現していったのです。